

周南市入札監視委員会議事概要書

開催日及び場所	令和6年度 第2回周南市入札監視委員会 令和6年11月18日(月) 14:00~16:00 於 周南市役所 5階 委員会室3		
出席委員	委員長 原田 正彦 委員 秋山 一正 委員 河野 拓也 委員 長澤 賢一 委員 橋野 成正 (五十音順)		
審議対象期間	令和5年10月~令和6年3月に入札・見積合わせしたもの(令和5年度契約分)		
議事概要	1 開会 2 議事 (1)周南市入札監視委員会設置規則第2条第2号に基づく審議 ①古川跨線橋撤去工事(第8工区) ②旧富田西幼稚園解体工事 ③小規模急傾斜地崩壊対策事業(舞車町(1)地区)法面对策工事 ④令和5年度「ニッカン・コム杯」企画 ⑤「yab山口朝日放送杯争奪戦」企画 ⑥周南市徳山中央浄化センター再構築事業設計・建設工事 (2)令和7年度第1回入札監視委員会について (3)その他 3 閉会		
抽出件数	総件数	371	件
条件付一般競争入札 (事前審査方式)		10	件
条件付一般競争入札 (事後審査方式)		48	件
指名競争入札		114	件
随意契約(プロポーザル 方式を除く)		192	件
随意契約(プロポーザル 方式)		7	件
委員からの意見・質問、 それらに対する回答等	意見・質問		回答
	議事 (1)周南市入札監視委員会設置規則第2条第2号に基づく審議 ①古川跨線橋撤去工事(第8工区) (委員) ②の解体工事(営繕系)との違いについて、①では判断基準額と同額となっており、②は企業努力により落札率が低くなっている。その理由は。 (委員) 競争というよりは、くじ引きになっている。本市に限ったことではないが、他の付随工事もあるのであれば、総合評価方式による方法などでもきたのではないかと。		(入札担当課) 橋梁の一部撤去だけではなく、他の付随する工事もあるため、土木一式工事として発注している。 土木系工事については積算条件書等により、条件を事前に示しており、参加業者で積算が可能となっている。 判断基準額等の積算方法も、事前に公表している。 (入札担当課) ダンピング防止の観点から、以前と比較して設定金額も上がっている。 国・県では総合評価方式で行っているところが多いが、市では業者数も限られており、現状では同レベルで総合評価により行うことは難しい。

<p>②旧富田西幼稚園解体工事 (委員) ①と比較して落札率が低い理由は。</p> <p>(委員) これが本来の形と考えており、企業努力により落札率が低くなっている。</p>	<p>(入札担当課) 本件は、解体工事での発注であり、1000万円以上の工事については低入札価格調査の対象としているが、判断基準額を設定していないため、落札率が低くなった。</p> <p>(入札担当課) ただ、全国的に、解体工事等の判断基準額がない工事についても、対象にすべきという流れになっており、山口県も導入している。市も今後導入を考えていく必要がある。</p>
<p>③小規模急傾斜地崩壊対策事業(舞車町(1)地区)法面対策工事 (委員) 他の類似案件は落札率が90%以上に対し、この案件のみ90%未満となっているのはなぜか。</p>	<p>(入札担当課) 判断基準額の設定はすべて決まった計算式で行っており、直接工事費よりも経費の割合が多いほど、判断基準額が低くなるため、このような状況となった。</p>
<p>④令和5年度「ニッカン・コム杯」企画 ⑤「yab山口朝日放送杯争奪戦」企画 ※④⑤は関連することから一括審議とした。 (委員) ④⑤は同様の業務であるが、それぞれ受注者が異なる。両案件が随意契約となる理由は。</p> <p>(委員) ④はスポンサー自身が契約相手方となっており、随意契約理由について納得できるが、⑤がスポンサー以外の者を契約相手方としているのはなぜか。</p> <p>(委員) スポンサーによる冠レースであっても市が支出しなければならないのか。</p>	<p>(契約担当課) ボートレース事業では企業名を冠したレースを実施しており、④はニッカン・コム杯のスポンサーである(株)日刊スポーツ新聞社を契約相手方としたものである。一方⑤はyab山口朝日放送杯争奪戦のスポンサーである山口朝日放送(株)が広告代理店指定証明書を提出したうえで(株)ケー・アール・ワイ・サービスステーションを広告代理店として指定してきたため、同者を契約相手方としたものである。</p> <p>(契約担当課) ⑤も可能であればスポンサー自身が実施したかったのではないと思われるが、人手不足等により代理で実施可能な者を探したのではないかと推察する。</p> <p>(契約担当課) モーターボート事業会計は公営企業会計であり、事業効果を図りながら市の一般会計に繰り入れ、還元することを趣旨としている。売り上げを増やし市に貢献するため、企業会計からの支出を伴うものであっても、できるだけ多くのイベントを実施したいと考えている。</p>
<p>⑥周南市徳山中央浄化センター再構築事業設計・建設工事 (委員) DBO方式を採用した理由は。</p> <p>(委員) メタウォーターグループとアドバイザー業者との間に利害関係はないか。</p>	<p>(契約担当課) 導入可能性調査や、VFMの観点から経済性の高い効果を算定した結果、最も効率的かつ効果的な方法であったDBO方式を採用したものである。</p> <p>(契約担当課) アドバイザー業者であるNJSは、今回の事業には参加できないようにしているため、利害関係はない。</p>
<p>委員会による意見具申 又は勧告の内容</p>	<p>なし</p>